



# 議会だより

No. 218

令和4年4月25日



JR越美北線と日本百名山荒島岳（上野地係）

## 主な内容

3月定例会の概要	2・3ページ
代表質問の概要	4・5ページ
一般質問の概要	6～10ページ
常任委員会審査報告	11～13ページ
議案等の各議員表決	13ページ
特別委員会報告	14ページ

大野市議会では、議会日程や議案等の審議経過及び結果、会議録などの議会情報をホームページでも掲載しています。ぜひご覧ください。



発行：大野市議会

〒912-8666 福井県大野市天神町1-1  
Tel 0779-64-4830 Fax 0779-65-3021  
<http://www.city.ono.fukui.jp/>

編集：議会だより編集委員会

# 3月 定例会の概要

第427回定例会が2月28日から3月24日までの25日間の会期で開催されました。今回の定例会では、令和4年度の各会計予算案、令和3年度各会計補正予算案、条例の制定・改正・廃止、人事案件などの全25議案のほか、継続分を含む請願3件、陳情2件、議員提出の市会案3件について審議しました。審議結果は、13ページのとおりであります。

また、各常任委員会と議会運営委員会の委員の改選と、前委員の辞任に伴う各特別委員会委員の補充を行いました。委員会等の構成は下表のとおりです。

## 議会運営委員会及び各委員会の構成

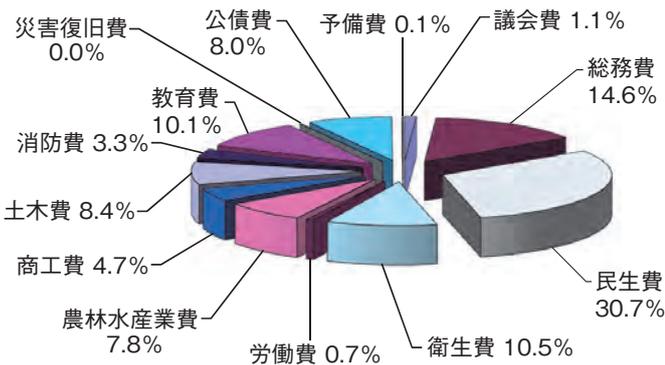
◎委員長 ○副委員長

議会運営委員会	常任委員会			特別委員会	
	総務生活	産経環境	教育民生	未来へつなぐまちづくり	人口減少対策
◎ 畑中 章男 ○ 林 順和 ○ 廣瀬 浩司 ○ 木戸屋八代実 ○ 堀田 昭一 ○ 榮 正夫	◎ 廣田 憲徳 ○ 伊東由起恵 ○ 松本 嘉彦 ○ 堀田 昭一 ○ 野村 勝人 ○ 畑中 章男	◎ 白崎 貴之 ○ 廣瀬 浩司 ○ 梅林 厚子 ○ 永田 正幸 ○ 松田 元栄 ○ 榮 正夫	◎ 林 順和 ○ 川端 義秀 ○ 木戸屋八代実 ○ ダニエル益資 ○ 高田 育昌 ○ 高岡 和行	◎ 川端 義秀 ○ 梅林 厚子 ○ 伊東由起恵 ○ 松本 嘉彦 ○ 廣田 憲徳 ○ 高田 育昌 ○ 野村 勝人 ○ 畑中 章男	◎ 堀田 昭一 ○ 木戸屋八代実 ○ 廣瀬 浩司 ○ 林 順和 ○ ダニエル益資 ○ 白崎 貴之 ○ 永田 正幸 ○ 榮 正夫

# 令和4年度 各会計予算決まる

### 一般会計

歳出(目的別)



会計名	予算額	対前年度増減率, %
一般会計	172億7,800万円	2.4
特別会計	82億713万円	△1.1
企業会計	21億8,412万円	△2.6
総計	276億6,925万円	0.9

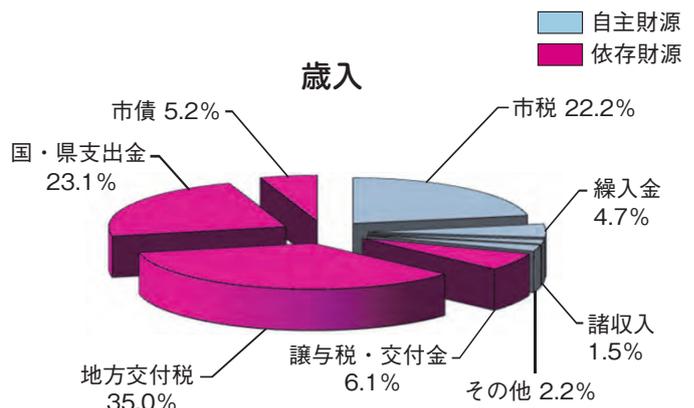
※特別会計は、国民健康保険事業や介護保険事業など6会計の合計額。企業会計は水道事業、下水道事業、簡易水道事業の3会計の合計額。

第六次大野市総合計画前期基本計画の2年目としての予算編成です。

一般会計予算は、歳入歳出予算の総額をそれぞれ172億7,800万円とし、前年度当初予算と比較して4億335万円、2.4%の増となっています。

歳出では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止とポストコロナに向けた社会経済活動の活性化の両立を図るための事業や、高速交通網整備を地域経済の活性化につなげるため、戦略的に施策を展開する事業などが計上されています。

歳入では、市税、基金からの繰入金、使用料及び手数料、諸収入などの自主財源は全体の30.6%、地方交付税、国・県支出金、地方譲与税、地方消費税交付金、市債などの依存財源が69.4%となっています。



1

## こども分野

未来を拓く大野っ子が健やかに育つまち

- 小中学校再編計画推進事業【新規】333万円  
校区ごとの再編準備委員会で課題などを協議し、再編に向けた準備を推進
- 小中学校施設改修事業【新規】1億6,664万円
- 一時預かり・延長保育事業【拡充】4,129万円  
令和4年9月から第2子以降の多胎児の利用料を無償化

2

## 健幸福祉分野

健幸で自分らしく暮らせるまち

- 健康づくり応援事業【拡充】4,410万円  
ヘルスウオーキングプログラムの実施、健幸アンバサダーの養成、健康・食守フェスタの開催
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業【臨時】7,141万円
- 住民税非課税世帯への臨時特別給付金給付事業【臨時】1億303万円  
住民税の非課税世帯などに対し、1世帯当たり10万円の臨時給付金を給付

3

## 地域経済分野

歴史・風土と新たな強みを生かした活力あるまち

- 稼ぐ力応援事業【新規】1,117万円  
稼げる地域ブランドの活用や現状分析、機会を捉えた実践的な取り組みを行う事業者を支援
- サトイモ園芸タウン事業【新規】1,721万円
- ふくいデジタルパウチャー実施事業【臨時】2,143万円  
県内での買い物等に使える「ふく割」を活用した電子クーポンの大野市版「おおの割」を発行

4

## くらし環境分野

豊かな自然の中で快適に暮らせるまち

- 地域で住み続けられる公共交通検討事業【臨時】584万円  
市内公共交通見直しに係る地区別ワークショップの開催、見直しに向けた実証運行の実施
- 公共施設太陽光発電等導入調査事業【臨時】898万円  
公共施設で太陽光発電設備を導入した場合の発電量や費用対効果を調査
- 脱炭素ビジョン策定事業【継続】857万円

5

## 地域づくり分野

みんなでつながり地域が生き生きと輝くまち

- いきいきわくわく学習事業【新規】1,407万円  
幅広い世代の人が多種多様なテーマで学べる機会や情報を提供
- 来て見て住んで応援事業【拡充】1,052万円
- 結の故郷地域が輝く交付金事業【拡充】2,158万円  
公民館を拠点に実施する地域の活性化、課題解決のための活動などを支援

6

## 行政経営分野

結のまちを持続的に支える自治体経営

- 自治体情報システム標準化経費【臨時】892万円  
住民情報、税情報などの基幹系システムに関する令和7年度の標準化に向けての準備経費
- 和泉地域情報通信基盤整備事業補助【臨時】1億1,970万円  
和泉地区で超高速ブロードバンド環境を整備する電気通信事業者の事業を補助
- ペーパーレス会議システム運用経費【継続】228万円

### 補正予算議案

令和3年度一般会計予算を6億8742万円増額(補正予算)

令和3年度の一般会計予算に6億8742万円が増額され、予算の累計が197億8499万円となりました。

除雪経費2億5000万円の増額や、各事業費の確定に伴う増減、財政調整基金をはじめとした各基金への積立金の増額などがなされました。

### 条例の制定

大野市まち・ひと・しごと創生基金設置条例の制定  
地域再生法に規定するまち・ひと・しごと創生寄附活用事業に要する経費の財源に充てるための基金が設置されます。企業版ふるさと納税寄附金が積み立てられます。

### 市会案

次の三つの市会案を全会一致で可決しました。  
シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

消費税におけるインボイス制度が、シルバー人材センターの活動に影響を及ぼさない措置を求める意見書を政府関係機関に提出することとしました。  
大野市議会会議規則の一部を改正する規則

会議で情報通信端末機器を使用できるように規則を改正しました。  
ロシアによるウクライナ

ロシア軍によるウクライナへの攻撃と主権侵害に抗議することなどを決議しました。詳しくは、14頁に掲載しています。

### 人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

新たに南居光枝氏(上舌)を推薦することに同意しました。

# 子育て世代のニーズの高い遊び場整備の方針は



新風会・公明

林 順和 議員



代表質問

県の制度は令和8年度まで。新年度以降、有効活用していく



放課後を児童センターで過ごす子どもたち

**問** 子育て世代のニーズの高い遊び場整備については、福井県が支援する方針を受けて、本市での整備はいつ、どこで実施するのか。

**答** 県の制度は令和8年度まで。屋内施設の充実に求める声を聞いている。新年度以降、県の補助を有効活用していく。

**問** 放課後等の子どもの居場所づくりに関して、「令和4年度は長期休業中限定で学校の空き教室等を活用し、まずは1カ

所実施していきたい」との答弁があり、議会としても評価したが、令和4年度予算案に計上されていない。

**答** これからの放課後の居場所づくりについて、学校の教室を活用していくという考え方を基本的に児童クラブと子ども教室の統合に向けた検討など、子どもの居場所づくりの在り方を検討する。新年度に第2期子ども・子育て支援事業計画の中間見直しを行う中で、市民の意見を聞く。

**問** 小学校における校区ごとの再編準備委員会はいつどのような形で設置される予定か。

**答** 小学校の再編は令和5年度以降に中学校での取り組みを参考にしているが、校長会や学校間で決められることは、新年度から協議していく。

小学校は地域と密接な関係があり、より慎重に協議する必要があることから、地域づくり団体の代表に参画していただくことも検討していく。

**問** 高校卒業後に地元で働く若者やUターンを目的とした大学進学者等への奨学金制度は評価が高かった。復活を求める声が多くあるが、考えは。

**答** Uターンすることへの大きな動機付けに結び付いていないことから終了した。



リニューアルされた移住定住応援サイト

**問** 地域ブランド調査結果について全国300位以内を目指していたが、令和3年度における認知度が863位、魅力度は908位と急降下した。

どう評価分析しているのか。

**答** 越前おおのブランド戦略の成果指標の一つとして設定していた「地域ブランド調査による認知度と魅力度」について、令和3年度は、順位は下がったものの、昨年開駅した道の駅「越前おおの荒島の郷」で実施したアンケート調査において、

県外客は4割で、集中的に情報発信を行った中京や関西、北陸方面の割合が高く、取り組みの効果が表れた。

**問** この冬は感染症の流行や断続的な降雪、エネルギー価格の上昇等により例年以上に消費が低迷。勝山市など各自治体が経済対策を打ち出したが、本市は追加の消費喚起策がなかった。実施しなかった判断、理由は。

**答** 冬季の経済対策について、12月補正で充実を図った。

**問** 公共施設再編の方向性を「現状維持」とした職業訓練センターについて、講座を廃止して生涯学習センターに集約する



利活用を模索する「職業訓練センター」

とともに、越前おおの農林舎が管理していく方針が示されたが、企業が求める人材育成のニーズにどう応えるのか。

**答** 職業訓練センターでは求職者向け講座、サテライトオフィス、貸館業務を継続。企業が求める研修ニーズは、地域経済部による企業訪問により収集し、生涯学習センターと情報共有を行うなど、部局間で連携する。

職業訓練センターは、利用が低調である1階部分を、農家が搬入する野菜の集出荷スペースの拡張を必要としている越前おおの農林舎に貸与することで有効活用を図っていく。施設の維持管理は、農林舎への委託の可否も含め精査する。

# 現在の市の財政状況と将来にわたる健全財政の維持について、どのように当初予算を編成したか



清風会

堀田 昭一 議員



簡素で効率的な行政運営を念頭に置き、市債の借入額や各基金からの繰入金を減額した予算編成とした

**問** 市の財政状況と将来にわたる健全財政の維持について、どのように考え当初予算を編成したか。

**答** 簡素で効率的な行政運営を念頭に置き、市債の借入額や各基金からの繰入金を減額した予算編成とした。財源確保は国や県の補助金を最大限に利用し、市債については、交付税措置のある有利な地方債を活用し、健全な財政運営の維持に努める。

**問** 第六次大野市総合計画やSDGsの市民への浸透と受け止めは。

**答** 本計画やSDGsの考え方を理解し、一緒にまちづくりを進める仲間が着実に増えているものと受け止めている。

**問** 新型コロナウイルス感染症の影響により米価下落、物価や燃料価格高騰の中、さらにロシア軍のウクライナへの侵攻に

**答** より、さらなる生活への不安があるが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の今後の活用は。

**問** 感染拡大防止と社会経済活動の両立を図っていく。

**答** 感染拡大防止と社会経済活動の両立を図っていく。

**問** 新型コロナウイルス感染症はこども園や学校に感染が広がっている。新型コロナウイルス感染者への対応は。

**答** 児童・生徒には、感染者や濃厚接触者に対して、決して差別、偏見が生じないよう、正しい知識と人権意識を指導している。また、感染対策による心理的ストレスを抱え込まないよう、結の故郷教育相談員やスクールカウンセラーなどが児童・生徒の心のケアに努めている。

**問** 当初予算の「いきいきわくわく学習事業」の内容と目的は。

**答** ライフステージに応じた学習メニューの充実や地域に誇りと愛着が持てる学習の推進、学べる環境づくりなど、生涯学習に関する事業を実施していく。人生100年時代にあつて、市民の学び直し、資格取得や起業につながる講座、企業向け社員研修のほか、デジタル化に対応した講座を実施する。

**問** 一日も早い国道158号の早期改修への市長の意気込みは。

**答** 県は境寺・計石バイパスの令和12年度までの完成を目指すとしている。福井市と連携して、早期の供用開始に向けて要望活動を行っていく。

**問** 「越前おおの産業ブランド力向上戦略」の目標を達成するための市長の意気込みは。

**答** 市内事業者の稼ぐ力と企業価値の向上を図り、地域経済の自立と好循環を実現していくことを目的としている。稼ぐ力の向上支援などを行っていく。

**問** 越美北線、まちなか循環バス、乗り合いタクシーなどの利用拡大に向けての当初予算への反映は。

**答** 高校生やまちづくり関係者と越前大野駅やその周辺のにぎわいづくりに取り組む。また地域の実情に応じた公共交通の在り方について実証実験を行い、検討を進める。

**問** 当初予算の「鳥獣害のない里づくり推進事業」の具体的な取り組みは。

**答** 要望のあつた集落において、農地に隣接する山際で幅約10mの草刈りや樹木の伐採などを行う。またニホンザルの大型捕獲檻を活用した捕獲を実施する。

**問** 当初予算の「サトイモ園芸タウン事業」の具体的な取り組みは。

**答** JAや県と連携して効率的な防除体系や新たな荷受け方法、種芋の保存方法などを検証するとともに、サトイモの生産規模を現状より30%以上拡大する生産者に対し、必要となる機械の導入を支援する。

**問** 脱炭素社会の実現に向けて、木質バイオマス発電所からの排熱の利用は。

**答** 平均25度程度の温水が発生しているとの報告を受けている。発電所は、事業者からの提案があれば協議していく。

**問** デジタルシステムを効率よく活用し、地域の課題解決や魅力向上にどのようにつなげていくのか。

**答** 人口減少による働き手不足、担い手不足を解決するため、スマート農林業の促進、事業者のデジタル導入支援に取り組む。

**問** 昨年9月以降に清滝川や木瓜川が濁水し、環境への影響が大きかった。環境との調和に対するマネジメントは。

**答** 流域の水循環に関する行政や事業者、有識者、関係団体、市民などからなる大野市水循環推進協議会で、総合的かつ計画的な流域マネジメントを推進していく。

代表質問

# 石山市政の下で不祥事が続発したが、再発防止に向けてどうすべきか



無党派

だにえるよしもと  
ダニエル益資 議員



## 第三者委員会の提言を踏まえ、大野市職員倫理規程を改正した

**問** 石山市政の下で、不祥事が続発したことについて、二度と不祥事を起こさないために、どうすべきと考えているか。

**答** 令和元年度、令和2年度と、市職員による不祥事が続いた。準公金の着服、利害関係者からの収賄、飲酒運転など、それぞれ内容は違うものの、市民の皆さまの信頼を裏切る行為だった。市では第三者委員会の提言を踏まえ、再発防止策の取りまとめと合わせ、大野市職員倫理規程を改正した。

**問** 石山市政の下で残念ながら、県内9市で魅力度9位や知名度9位という状況になってしまった。魅力度、知名度を挽回すべく、市長と副市長がもっと本市をPRすべきではないか。

**答** 稼ぐ力ということで、産業ブランド力向上計画を本年度策定する。また、中部縦貫自動車道が県内全線開通し、北陸新幹線が敦賀駅まで開業する機会を捉え、本市で地域経済が回っていくよう取り組みを進めていきたい。

**問** 本市の人口が毎年500人、600人と減っている。このスピードで人口減少が進むと、人口はゼロになる。市当局がさまざまな施策を打っても歯止めがかからない。2期目を目指す市長のさらなる対策は。

**答** 人口減少の傾向は今後も続くものと捉えている。2025年の人口2万9000人という目標に向かって、市民や団体、事業者などが連携・協力して取り組むことが必要であり、第2期大野市総合戦略に沿って施策を進めていくことで、減少幅を少しでも減らしていく。

一般質問

# 成人式に関する20歳を迎える方への調査結果は



新風会・公明

しらすき たかゆき  
白崎 貴之 議員



## 実施年齢は「20歳」が96パーセント、開催時期は「1月」が60パーセント

**問** 成人式に関する20歳を迎える方を対象に行った調査結果は。

**答** 「何歳の時に実施するのが良いと思うか」との質問には、20歳という回答が96%、「開催はいつ頃が良いと思うか」との質問に対しては、1月が60%、3月が30%であった。

**問** 調査の結果を受けて開催時期はいつごろを予定しているのか。

**答** アンケートの結果などを参考に、1月での開催を予定している。

**問** 小中学校でのオンライン授業の実施状況は。

**答** 自宅待機となった児童・生徒は、1月27日から3月1日までの期間で122人おり、児童・生徒の状況や保護者との相談内容に合わせて、オンライン学習やプリント学習などの対応を取っている。

**問** 公民館を地域づくりの拠点とするとは、具体的にどのようなものか。

**答** 生涯学習の場としてだけでなく、地域福祉や防災防犯、子どもの見守りなどの地域活動、支え合い・助け合いの重要なコミュニティ拠点として位置付け、取り組んでいる。

**問** 学校の長期休業中に公民館を児童に開放し、自由に宿題や自主学習ができる場を提供してはどうか。

**答** 自習室として開放できる会議室の確保や落ち着いて自主学習ができる環境の整備などを整理し、新年度から対象を中学生に加え、小学5、6年生児童にも拡大し、実施する方向で検討していく。

# 大野市公共施設等総合管理計画の推進は財政面に与える影響が大きい、現状と進め方は



清風会

ひろた

憲徳

議員



計画的に修繕や改修を行っている  
来年度公共施設等総合管理計画を見直し検討していく

- 問** 平成25年の大野市公共施設再編計画策定後、現在までの公共施設の再編実績は。
- 答** 廃止が24件、用途変更が2件、譲渡や売却が12件、統合が5件、借地の返還が2件、機能移転が3件である。
- 問** 大野市公共施設等総合管理計画で施設情報を一元管理するとあるが、管理状況は。
- 答** 公共施設の現状把握は、所管課が施設ごとに行うこととし、適切な維持管理に努めている。全体については、財政経営課で管理している。
- 問** 改修等で補助金等を使うと財産処分の制限期間が延びる。その施設の目標耐用年数、延べ床面積などの資料はあるのか。
- 答** 財産処分の制限期間、改修した後の目標耐用年数、延べ床面積等の資料は、総合管理計画を見直し、検討していく。
- 問** 令和3年度に改訂する公共施設再編計画の再編目標は。
- 答** 20施設を「廃止」とし、再編の目標とした。その内訳は譲渡が15、売却・解体が5となる。また市民サービスの低下を招かないよう配慮し、計画を進める。
- 問** 公共施設再編計画編で、既に耐用年数が超過している施設がある。いつ更新または改修をするのか。また長寿命化や付随する設備・備品等の経費の試算は。
- 答** 計画的に修繕や改修を行っている。さらに全庁統一ルールで施設の点検や診断を行い、維持管理や更新の実施時期、費用などを試算している。また来年度、公共施設等総合管理計画を見直し、検討していく。

# 地域の助け合いによる公共交通の実証実験とは



未来おおの

きとややよみ

議員



例えば、地域住民が送迎の一端を担うような  
実証実験である

- 問** 越美北線が存続するために乗車人数を増やすことが重要であるが、どのような取り組みをしていくのか。
- 答** 観光利用促進については、サイクルトレイン、ナイトクルージングモニターツアー、御朱印型乗車記念証の継続、九頭竜湖駅の駅舎装飾を実施する。日常利用の促進については、団体利用の条件の緩和、回数券購入の助成拡充、越美北線を定期的に利用する方への京福バス大野線の回数券購入補助の新設などを行う。
- 問** 地域の助け合いによる新しい公共交通の実証実験とは、どのような取り組みか。
- 答** 各地区においてワークショップなどを行い、公共交通を必要とする方のニーズや地域の特性を把握し、地域に合った持続可能な公共交通の在り方の検討を進める。例えば地域住民にドライバーになってもらい、送迎の一端を担ってもらうような新しい移動手段の導入も視野に入れながら、実証実験などを行う。
- 問** 令和4年3月に改訂する大野市公共施設等総合管理計画で大野市公共施設再編計画編の基本的な考え方は、どのようなものなのか。
- 答** 施設数の削減のほか、コスト削減と市民サービス水準の維持を図り、公共施設の再編と適正配置を進めるための基本的な考えを示した計画である。再編の検討に当たっては、市民や地域の意向を確認し、市民サービスを低下させることがないよう、配慮して進める。

# 高齢者の買い物難民、医療難民に どのような手立てをしているのか



双葉会  
たかおか

高岡  
かずゆき  
議員



## 公共交通の在り方を検討していきたい

- 問** 市長の政治姿勢について問う。本市におけるインフラ整備の現状と今後の取り組みは。
- 答** 中部縦貫自動車道大野油坂道路は、(仮称)和泉インターチェンジまでは令和4年度、(仮称)油坂出入口までは令和8年春に開通する見通しである。国道158号境寺・計石バイパスは早期供用開始に向けて要望を続ける。
- 問** 中部縦貫自動車道が令和8年春に、県内全線が開通することは間違いないのか。
- 答** 実現されるよう努力している。
- 問** 平成24年に、完成まで概ね10年と言っていた境寺・計石バイパスは10年間で完成しないと思うのだが。
- 答** 令和3年度から令和12年度までの中で完成させたい。
- 問** せると県の発表があった。高齢者の買い物難民、医療難民に、どのような手立てをしているのか。
- 答** 公共交通の在り方を検討していきたい。
- 問** 六呂師高原活性化構想案に、市はどう取り組むのか。
- 答** 県と市が協力し、モネベルの知見を生かす。滞在やアウトドア体験の拠点として新たな誘客の柱となるオートキャンプ場やコテージなどを新設し、年間二万人が泊まることが可能。
- 問** 六呂師高原活性化で市街地はどれだけの恩恵を受けるのか。構想案には、市内に誘導という言葉だが、市民や本市が潤う企画がどこにあるのか。
- 答** 市内全域に経済効果が生まれるようにしていきたい。

一般質問

# 子ども食堂に対する本市の支援方針は



新風会・公明  
いとうゆきえ

伊東由起恵  
議員



## 新年度から安定的な運営に要する活動経費を補助する

- 問** 新型コロナウイルスワクチン接種について、5歳から11歳児へのワクチン接種後の副反応は。
- 答** 接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、さまざまな症状が臨床試験で確認されているが、軽度または中等度である。
- 問** 本市の孤独・孤立の実態と施策の実施状況は。
- 答** 1人暮らしの高齢者やひきこもり状態にある人は社会的に孤独や孤立に陥ることが多いとされており、市内の1人暮らしの高齢者世帯は1280世帯で、ひきこもりについては把握できていない。高齢者への対応は、区長や民生委員、介護サービス事業所等と連携し、支援につなげるほか、巡回訪問や配食サービス事業、ふれあいサロン事業の支援などに取り組んでいる。
- 問** 子ども食堂に対する本市の支援方針は。
- 答** 子ども食堂や子どもに対する宅食の支援を行う民間団体と連携し、気掛かりな子どもを見守り、必要な支援につなげるため、新年度から子ども食堂見守り支援事業補助を実施する。安定的な運営に要する活動経費に補助するもので、団体の体制や活動の内容を見極め、できる限り支援に努める。
- 問** 高齢の飼い主が病気や介護などでペットの世話ができなくなった場合、も包括的な取り組みが必要では。
- 答** ペットの世話ができなくなった場合の預け先の事前準備などをホームページ等で啓発するとともに、介護サービスの利用者には事業所を通じて呼び掛けを行う。

# 石油価格高騰により灯油購入費の助成を求める



野村 勝人 議員  
日本共産党大野市議員団



## 助成は考えていない。灯油を含めた生活費等の相談があった場合は個別に相談支援を行う

**問** 福祉灯油の支援が必要では。

**答** 生活困窮世帯への緊急小口資金等の特例貸付制度が、令和4年6月末まで延長措置が取られている。また、生活保護世帯には、世帯の規模に応じて生活扶助費として冬季加算が上乘せされていることなどから灯油購入費助成は考えていない。相談があった場合に個別に相談支援を行う。

**問** 県からの通知は。

**答** 生活困窮者灯油購入費助成に対し「特別交付税の措置を講じる」「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用することも可能」「生活困窮者に対する灯油購入費の助成について一度検討を」という内容である。

**問** 杉本知事は県議会でも「2007年には各市町に声掛けし、灯油購入費の助成が行われた。今回も状況を見ながら市町に助言していく」と答弁した。2008年1月31日には、元国務大臣の舛添要一氏が予算委員会で「生活困窮者に対する灯油購入費の助成と生活保護の冬季加算は全く別のもの」と答弁している。暖房費の実態は例えば、小型温風ヒーターを1日使用すると5リットルが空になる。灯油代が税込み1リットル109円で、1日545円。月1万6350円がかかる。冬季加算6790円という金額は少ないのでは。

**答** 生活保護の場合、1人世帯は6790円、2人世帯で9630円、4人世帯で1万1820円、6人世帯で1万2920円と人数に応じて冬季加算金額が変動する。

# 泉町等の下水道整備、今後の予定は



梅林 厚子 議員  
無党派



## 水のまちとして地元の皆さまにご理解をいただきながら事業の進捗に努める

**問** 地下水に影響を及ぼす可能性が心配される泉町等の下水道整備の今後の予定は。

**答** 工事は地下水が低くなる10月から1月までの3カ月程度で実施し、全体の工事期間は、おおむね5年。今年は施工年度ごとの工事予定箇所を示し、各家庭の公共ます設置位置の調査方法、工事による通行止めに伴う迂回路の設定、水道仮設計画、工事内容の地元説明を行い、令和5年度の着工を目指す。

**問** 他市では公共ますの設置を市が負担している。本市の公共ますを1基設置する際の受益者負担金の戸割が、15万円である根拠は。

**答** 全体事業費の8割が受益者負担金。

**問** 地下水に影響を及ぼす可能性が心配される泉町等の下水道整備の今後の予定は。

**答** 工事は10月から1月だが、仮設水道は5年間利用するのか。

**答** 仮設水道利用期間は、工事期間を予定。

**問** 消費パイプ敷設箇所等は、工事面積縮小と捉えてよいか。

**答** 工事をしない訳ではない。一時的に消費パイプを撤去し、下水道整備終了後に下水道事業会計の負担で復旧する。幅員が狭い所等では今回は一時的に工事を保留。工事が可能になったら開始を予定している。

**排水設備工事**

公共ますとは？

受益者負担金の金額

受益者負担金の計算

本市の公共下水道リーフレットより

一般質問

# 令和6年度の中学校再編後の学校生活については、今後どのように決めていくのか



新風会・公明

ひろせ 浩司 議員



令和4年度は新しい中学校区ごとに再編準備委員会を設置し、再編に向けた諸課題について協議を行う

**問** 令和6年度の中学校再編後の学校生活については、今後どのように決めていくのか。

**答** 令和4年度は新しい中学校区ごとに再編準備委員会を設置し、再編に向けた諸課題について協議を行い、令和5年度は生徒の事前交流をはじめ再編に向けての具体的な準備を整えていきたい。再編準備委員会は、保護者や地域・学校の代表に参画いただき、4年度、5年度ともに、年度の比較的早い時期と年度末に近い時期の2回開催予定。この委員会に四つの部会を設け、地域との関わりや式典に関すること、スクールバスの運行や学用品に関すること、事前交流や学習活動に関すること、PTAの統合に関することなど、再編を行うに当たっての枠組みや方向性を、分野ごとに部会で協議し、決定したことを、全ての委員が出席する再編準備委員会で承認する形を取る。

また、部活動については、令和5年度の秋まで現在の学校で活動し、その後は、令和6年度を待たずに交流活動を進めていきたい。

**問** 教職員の働き方改革をどのように進めていくのか。

**答** 校長会と教育委員会で、超過勤務者を少なくするための方策を協議したり、取り組み事例を紹介し合ったりしてきた。中学校の部活動の地域移行も、教職員の働き方改革の視点からも着実に進める必要がある。また、令和4年度に中学校に校務支援システムを導入し、令和5年度より運用開始の予定。

一般質問

# ケア労働者の処遇改善は、すべての人に届くように



日本共産党大野市議員団

さかえ まさお 正夫 議員



他自治体との兼ね合いで実行していく

**問** 令和3年12月の第207回国会(臨時会)において、岸田総理は所信表明演説で「新しい資本主義の下での分配の実現のため、まずは国が率先して看護、介護、保育、幼児教育の現場で働く方々の給与を本年2月から引き上げる」とし、ケア労働者処遇改善事業を経済対策として打ち出したが、本市の対応はどうか。

**答** 令和3年11月19日に閣議決定されたコロナ克服・新時代開拓のための経済対策に、「民間部門における春闘に向けた賃上げの議論に先んじて、保育士等、幼稚園教諭、介護・障がい福祉職員を対象に賃上げを本年2月に前倒しで実施すること」が明記された。本市では、民間の保育所と認定こども園には取り組みの意思を確認し、

**問** 令和3年の第207回国会(臨時会)において、岸田総理は所信表明演説で「新しい資本主義の下での分配の実現のため、まずは国が率先して看護、介護、保育、幼児教育の現場で働く方々の給与を本年2月から引き上げる」とし、ケア労働者処遇改善事業を経済対策として打ち出したが、本市の対応はどうか。

**答** 令和3年11月19日に閣議決定されたコロナ克服・新時代開拓のための経済対策に、「民間部門における春闘に向けた賃上げの議論に先んじて、保育士等、幼稚園教諭、介護・障がい福祉職員を対象に賃上げを本年2月に前倒しで実施すること」が明記された。本市では、民間の保育所と認定こども園には取り組みの意思を確認し、

**問** 令和3年の第207回国会(臨時会)において、岸田総理は所信表明演説で「新しい資本主義の下での分配の実現のため、まずは国が率先して看護、介護、保育、幼児教育の現場で働く方々の給与を本年2月から引き上げる」とし、ケア労働者処遇改善事業を経済対策として打ち出したが、本市の対応はどうか。

**答** 令和3年11月19日に閣議決定されたコロナ克服・新時代開拓のための経済対策に、「民間部門における春闘に向けた賃上げの議論に先んじて、保育士等、幼稚園教諭、介護・障がい福祉職員を対象に賃上げを本年2月に前倒しで実施すること」が明記された。本市では、民間の保育所と認定こども園には取り組みの意思を確認し、

**問** 今回の処遇改善は、経済対策としての性格があるわけだが、公立の会計年度任用職員は事業の対象にする、正規職員は対象外にする、そのすみ分けの決定は、庁内の会議か何かをされたのか。

**答** 市職員の処遇改善は、民間や他自治体との比較により、必要な場合に行うこととしている。今回は、会計年度任用職員について、改善の必要があった。他市の動向も考慮して提示したものである。

産経環境

(白崎委員長 廣瀬副委員長  
梅林、永田、松田、榮)

公営企業会計推進事業について

◎理事者の説明

農業集落排水事業特別会計を令和6年度から公営企業会計に移行するに当たり、令和4・5年度を期間とする債務負担行為により、減価償却費などを算定する資産の評価や移行に伴う支援を業務委託するものである。

◎委員の意見

債務負担行為は、後の年度の債務を約束するものであるが、契約締結後、議会に対してその実績報告が徹底されていない。当委員会として、債務負担行為に係る事業の実績報告を毎年、機会を捉えて行われるよう求める。

地域で住み続けられる公共交通検討事業について

◎理事者の説明

持続性のある公共交通の検討・見直しを進めるため、阪谷地区と和泉地区で住民が参加するワークショップを開催し、地区に合った公共交通の在り方を模索する。

さらに、阪谷地区では、ワークショップを踏まえ、実証実験も予定している。

◎委員の意見

先進自治体で取り組まれている地域住民自らが運転するタクシーの運行なども考えられるが、この実証実験の結果をモデルケースとして示され、今後、各地区へ広がっていくなど、市内全域において持続可能な公共交通の実現を目指されたい。

ふるさと納税推進事業

◎理事者の説明

本年3月から、充実した返礼品やポータルサイ

ト構築などの支援業務の委託先を県内他市において実績のある株式会社大津屋に変更し、年間1億円の寄附額を目標としている。

◎委員の意見

事業が奏功することで、本市に興味を持ってもらい、訪れてみようという意識の醸成につながることも期待できることから、前向きに目標金額を設定され、消費者からの共感を得られる魅力ある返礼品の発掘や情報発信に取り組まされたい。



人気の返礼品 サトイモ

公共施設太陽光発電等導入調査事業について

◎理事者の説明

市内公共施設での太陽光発電導入の有効性を確

認するための調査を行う。

◎委員の意見

市庁舎にはすでに太陽光発電設備が設置されているので、まずはその費用対効果などの実績を参考にして取り組まされたい。

越美北線観光利用促進事業について

◎理事者の説明

越美北線の観光資源としての活用と利用促進を目的に、九頭竜湖駅を恐竜や化石をテーマに装飾するとともに、自転車専用車内に持ち込み、その自転車で市内を周遊するサイクルトレインや、列車に乗って本市の星空観光を楽しむナイトクルージングなどのモニターツアーを実施する。

◎委員からの意見

サイクルトレインは、誰をターゲットに、いつ、どこで何を楽しんでもいただくのか、PRをどうするのかなどを十分に検討し、継続したサイクルトレインの実現につなげられたい。

7月市議会定例会のお知らせ

日	月	火	水	木	金	土
7/10	11	12	13	14	15 本会議 (開会)	16
17	18 海の日	19	20	21	22	23
24	25 本会議 (一般質問)	26 本会議 (一般質問)	27 常任委員会 (産経環境)	28 常任委員会 (教育民生)	29 常任委員会 (総務生活)	30
31	8/1 特別委員会 (人口減少対策) (未来へつなぐまちづくり)	2	3	4 本会議 (閉会)	5	6

市議会の本会議は、誰でも傍聴することができます。傍聴を希望する方は、議会事務局(3階)で受け付けを済ませてから、傍聴席(R階)にお入りください。

日程は、予定のため変更になる場合があります。

本会議と常任委員会の開会時間は、午前10時を予定しています。人口減少対策特別委員会の開会時間は午前10時、未来へつなぐまちづくり特別委員会の開会時間は、午後1時を予定しています。ただし、開会前の会議により遅れる場合もあります。

詳しくは、議会事務局へ問い合わせてください。

(☎0779-64-4830)

※例年は6月定例会ですが、市長選挙を考慮して7月定例会になります。

## ▼教育民生

(林委員長、川端副委員長  
木戸屋、ダニエル、高田、高岡)

### 子ども食堂見守り支援事業補助について

#### ◎理事者の説明

子どもの見守り活動が減少する中、地域社会から孤立しがちな子育て家庭への食事の提供を通じて、子どもや家庭の見守り活動を実施する団体へ補助するもの。

### ◎委員会としての附帯決議

食事の提供を通して家庭や親子の様子を地域で見守るといふ事業の趣旨は、団体の取り組みとして敬意を表すべきものである。このような取り組みが市内各地に広がることを強く期待するところではあるが、事業内容の説明が不明瞭であり、団体との調整も不十分であることが懸念される。

当委員会として、この事業の補助金交付に当たっては、事前に当委員会

への十分な説明を行い、執行に遺憾なきよう努められたいとの要望事項を付して認めることとする。

### 小中学校施設改修事業について

#### ◎理事者の説明

再編の受け皿となる陽明中学校、開成中学校と、先行再編した下庄小学校の校舎を改修するため、令和4年度は、プロポーザル方式により調査・施設設計の業務を委託し、令和5・6年度で改修工事を行う。

#### ◎委員の意見

少子化が進んでも地域で学校を活用できるよ



改修に向けて準備が進む下庄小学校

う、本市の実情に沿った独自の提案を引き出されたい。



楽しみながら健康づくり

### ヘルスウォーキングプログラムについて

#### ◎理事者の説明

令和4年度は、参加者を1630人に増員する。国の支援を活用して令和5年度まで取り組みたい。

#### ◎委員からの意見

市民一人一人が自分自身の健康状態を知り、楽しみながら健康づくりに取り組めるように、市として集計データを分析し各施策へフィードバックされたい。

### いきいきわくわく学習事業について

#### ◎理事者の説明

人生100年時代の到来を受け、学び直しを重視した講座やデジタル社会に対応できる研修を行うため、これまでの各種事業を統合した。

#### ◎委員からの意見

生涯現役社会やニューノーマルにも柔軟に対応できるよう市民が楽しく、長く学び続けられる講座の実施や企業ニーズを反映した講習等の展開を求める。

## ▼総務生活

(廣田委員長、伊東副委員長  
松本、堀田、野村、畑中)

### 移住定住施策について

#### ◎理事者の説明

地域おこし協力隊は、地域の活性化と隊員の定住を図るための取り組みである。

隊員の活動促進と定住につなげられるよう、悩



#### ◎委員の意見

投書のない場所の提案箱は致し方ないが、投書の多い場所のものは、市民の意見を聞き取るための重要な機能を果たしていると考えられるので残されたい。

### 災害現場等でのドローンの活用について

#### ◎理事者の説明

令和3年度にB&G財団の支援を受け、防災活動に活用するためのドローンを2機購入した。本年2月に操作研修を実施し、4月以降は、いつでも活用できる状態にある。

#### ◎委員の意見

被災現場の調査や情報収集、被災者の発見や救助など、ドローンをさまざまなに活用し、今後の防災・減災につなげられたい。





SDGsの促進について  
 ◎理事者の説明  
 市民へのSDGs浸透を図るため、協定を締結している事業所と連携した出前講座を実施するほか、啓発バッジや子ども向けカードゲームを作成する。

◎委員の意見  
 広報おおのやホームページなどによる情報発信はもとより、企業や事業所での取り組みの推進が効果的であると思われるので、企業等へのより積極的な啓発に努められたい。

## 令和4年3月第427回定例会 議案等の審議結果及び各議員表決

### 全会一致で可決・承認・同意・採択・趣旨採択された議案等

議案番号	議決結果	議案名	議案番号	議決結果	議案名			
市長提出議案	3	可決	令和4年度大野市和泉診療所事業特別会計予算案	市長提出議案	18	可決	大野市まち・ひと・しごと創生基金設置条例案	
	5	可決	令和4年度大野市介護保険事業特別会計予算案		19	可決	大野市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	
	6	可決	令和4年度大野市農業集落排水事業特別会計予算案		21	可決	大野市ぶなの木台コミュニティセンター設置条例を廃止する条例案	
	7	可決	令和4年度大野市水道事業会計予算案		22	可決	大野市有機堆肥製造施設設置条例を廃止する条例案	
	8	可決	令和4年度大野市簡易水道事業会計予算案		23	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度大野市一般会計補正予算(第8号))	
	9	可決	令和4年度大野市下水道事業会計予算案		24	承認	専決処分の承認を求めることについて(令和3年度大野市一般会計補正予算(第9号))	
	11	可決	令和3年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)案		25	同意	人権擁護委員候補者の推薦について	
	12	可決	令和3年度大野市和泉診療所事業特別会計補正予算(第2号)案		市会案	1	可決	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書について
	13	可決	令和3年度大野市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)案			2	可決	大野市議会会議規則の一部を改正する規則案
	14	可決	令和3年度大野市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)案	3		可決	ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議について	
	15	可決	令和3年度大野市水道事業会計補正予算(第1号)案	請願	1	趣旨採択	「水田活用の直接支払交付金」の見直しの中止を求める請願	
	16	可決	令和3年度大野市簡易水道事業会計補正予算(第2号)案	陳情	1	採択	シルバー人材センターに対する支援を求める意見書の提出について	
	17	可決	令和3年度大野市下水道事業会計補正予算(第2号)案	継続分請願	2	趣旨採択	政府の新型コロナ禍での米価格暴落対策が皆無の中、自治体独自の稲作農家への直接支援策を求める意見書提出について	

### 各議員の表決が分かれた議案等

議案番号・議案名等		議員名(議席番号順)	議決結果	廣瀬浩司	木戸屋八代実	林順和	ダニエル益資	白崎貴之	伊東由起恵	松本嘉彦	廣田憲徳	堀田昭一	高田育昌	野村勝人	梅林厚子	永田正幸	松田元栄	川端義秀	高岡和行	畑中章男	榮正夫
市長提出議案	1	令和4年度大野市一般会計予算案	可決	○	○	○	×	○	○	○	欠	○	○	×	×	○	/	○	○	○	×
	2	令和4年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	/	○	○	○	×
	4	令和4年度大野市後期高齢者医療特別会計予算案	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	/	○	○	○	×
	10	令和3年度大野市一般会計補正予算(第10号)案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	/	○	○	○	×
20	大野市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	×	○	○	/	○	○	○	×	
請願	2	インボイス(適格請求書)制度の中止を求める請願	不採択	否	否	否	否	否	否	否	欠	否	否	賛	否	否	/	否	否	否	賛
陳情	2	北陸新幹線が大阪へ延伸するまで、特急「サンダーバード」「しらさぎ」をJR西日本・JR東海の運営・運行で現行のまま存続させることを求める陳情	不採択	否	否	否	賛	否	否	否	欠	否	否	賛	否	否	/	否	否	否	賛

議長(松田元栄)は採決に加わらないので「/」で表示。議案に賛成○、反対×。欠席は「欠」と表示。請願、陳情の願意に賛成「賛」、願意を否とする場合「否」

# 特別委員会 報告

## ▼人口減少対策特別委員会

(堀田委員長、木戸屋副委員長、廣瀬、林、ダニエル、白崎、永田、榮)

～若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる～  
長期休業中の子どもの居場所について

◎理事者の説明  
放課後の子どもの居場所としては、市内五つの児童センターで実施する「放課後児童クラブ」と、地区公民館などでの「放課後子ども教室」の二つの取り組みがある。長期休業中の子どもの居場所や活動場所の確保が課題である。

◎委員の意見  
希望する全ての子どもたちが利用できる安全で安心な子どもの居場所を

早急に整備されたい。  
子どもの遊び場について

◎理事者の説明  
子ども・子育て支援事業計画の中間見直しを行うに当たり、令和4年度は、子どもの遊び場などについてアンケート調査を実施したい。

◎委員の意見  
子育て世代が、住み続けたい「魅力ある大野市」となるよう情報収集に努め、県の補助を活用し、スピーディな対応を求めたい。

◎理事者の説明  
インバウンド対策として、元町会館の観光案内所が日本政府観光局(JNTO)の外国人観光案内所に認定された。また多言語通訳ができるポケトークを越前大野城や観光協会、道の駅九頭竜に配置した。

◎委員の意見  
新しいひとの流れをつくる

◎理事者の説明  
空き家の家財処分費用や空き家管理代行サービス費への助成制度を創設し、空き家情報バンクへの登録件数の増加を図る。

◎委員の意見  
移住定住者のための住まいの確保を最優先課題として取り組まれない。

◎理事者の説明  
市との連携協定による越美北線沿線地域の観光施策として、令和4年度にはサイクルトレインや九頭竜湖駅の装飾などを実施する予定である。

◎委員からの主な意見  
本市の魅力向上において、市民がおもてなしの

## ロシアによるウクライナ侵攻に抗議！

令和4年3月定例会最終日に、市会案第3号「ロシアによるウクライナ侵攻に抗議する決議について」を全会一致で可決しました。(以下、決議文の一部です)



武力による攻撃は、いかなる理由をもってしても正当化されるものではなくウクライナに対する主権侵害であり、国際社会の秩序と平和を脅かす暴挙を断じて容認することはできません。

よって、大野市議会は、ロシア軍によるウクライナへの攻撃と主権侵害に抗議するとともに、ロシア政府に対し、武力行使の即時停止と国際法の遵守を強く求めます。

また、政府においては、国際社会と緊密に連携し、国際秩序の維持に向けた厳格かつ適切な対応を講じられるよう、強く求めます。

◎理事者の説明  
星空保護区の認定に向けた取り組みの中で、本市が令和5年の全国大会開催候補地に決定した。

◎委員の意見  
市が令和5年の全国大会開催候補地に決定した。



moreNOTE操作研修会

※次回は、8月下旬の発行を予定しています。

議会だより編集委員会  
委員 林 順和  
木戸屋八代実  
廣田 憲徳  
野村 勝人  
高岡 和行

◎委員の意見  
市民の代弁者であり、より良い大野市づくりのけん引役である議会として、会議資料のペーパーレス化や来年改選するに当たり議員定数を削減するなど、議会改革に取り組んでいます。市民の皆さまの政治への関心が高まるよう努力してまいります。

編集後記  
タブレット端末を利用して初開催となった今回の編集委員会。紙との併用でしたが、データを事前に確認できたことで、一番重要な「議論」を活発に行えたのではと感じました。議員自らが読み手である市民の立場に立ち、読みやすい紙面構成や編集方法を学び、さらに伝わる議会だよりへ改善してまいります。